

# 広報 おおづ

8  
AUG2020

Public relations  
OZU TOWN



大津地蔵祭りの際に会場で祭りを見守る六地藏。来場者たちも六地藏に手を合わせます。

広報 おおづ 2020 8

発行・編集 大津市 総務課 熊本野菊池郡大津町大字大津 1233 番地  
〒869-1292 TEL:096(293) 3111 <http://www.town.ozu.kumamoto.jp/> ※広報おおづは無料で配布しています。

UD FONT 異やまぐみまぢがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。



今月の表紙

今月のみどころ

明日は我が身！防災を考える

大津東小学校南側の田んぼ「コメコメランド」で東小学校の全校児童による田植えが行われました。児童たちは普段できない体験を楽しみながら取り組みました。(記事は13頁)



## 伝統と子どもたちの笑顔を守る人たちがいる



大津地蔵祭り実行委員会 吉見功さん(大津)

毎年8月23日、24日に行われている大津地蔵祭り。その歴史は150年以上と古く、町の伝統と呼ぶにふさわしい祭りであるが、今年は新型コロナウイルス感染症の影響で中止が決定した。今回は大津地蔵祭り実行委員会を代表して吉見功さんにクローズアップする。

祭りの起こりは一説によると、江戸時代に飢饉や悪疫、上井手川で亡くなる子どもたちが多く、それを弔うために地蔵尊を祀ったことからとされている。現在は少し形を変え、伝統を伝え、子どもたちの無病息災と健全な成長を祈願することを目的に開催されており、地域の住民に愛されている。

世界中で新型コロナウイルス感染症が猛威を振る中、8月までに収まる保証がないと、5月の早い段階で中止を決定した。「熊本地震時は、こんな時だからこそ町を盛り上げるために開催したが、今回は開催しても、感染症対策が万全にできないからと苦渋の決断をしました。地震の時とは状況が違ふ。感染は命に関わるかもしれないので「吉見さんは言葉を詰まらせる。今年は、実行委員会の各団体代表者に出席してもらい細心の注意を払って地蔵供養祭だけを執り行う予定だ。子どもたちへの思いと伝統は途切れさせるわけにはいかない。

子どものころから祭りが好きで、提灯を見ると血が騒ぐという吉見さん。地震後に初めて打ち上げられた花火は今でも鮮明に覚えている。目に浮かぶのは、子どもたちが「わー」「お父さん見て」などと歓声を上げながら夜空を見上げる姿。花火の打ち上げが成功してよかったと心から思えた。「(新型コロナウイルスの影響は)来年もいつなっているかわからない。新しい祭りの形も考えなければならぬのかもしれない」と吉見さん。今は日本だけでなく世界にも目を向けて情報を集めている。華やかな大津地蔵祭りの裏には町の伝統と子どもたちの笑顔を守り続ける人がある。次回の開催が今から待ち遠しい。

からいもくん便り 大津町公式アカウント

登録方法: ozutown@gw.ansin-anzen.jp に空メールを送信してください (スマートフォンの場合は件名に任意の1文字「あ」などを入力して送信)。

友だち追加の方法  
①LINEの友だち追加の画面から「@ozutown」で検索する。  
②次のQRコードを読み込む。

二次元バーコード

7月18日に開催されたレールウォーク(8頁参照。肥後大津駅をスタートして、道の駅で折り返し中央公園までのコースを参加者の皆さんと一緒に歩きました。普段は入れない線路の上や高架橋の下を歩くことができ、貴重な体験ができました。雨が心配されましたが当日は15.5ℓの水を飲み干してしまっただけで運動ができていなかったのど汗をかくことができました(暁)

ついでの声